

(4) 教材構造の分析 (略)

(5) 観点別目標分析 (略)

(6) 小単元の授業計画 (6時間)

時間	学習段階	主な活動	留意点・評価等
15分	課題の把握	スライド・VTRより敗戦国西ドイツが高度な工業国となった理由を考える。	興味を持って取り組んでいるか。 (チェックリストによるマインスチェック)
5	予想の設定	予想をノートに書く。	(ノート点検によりチェック)
25	予想のたしかめ	資料を読み取り、結果をノートに書く。	机間を巡視し問題生徒にはフィードバックする。 資料が正確に読み取れているか。 (チェックリスト法)
5	次時へのつなげ	残りは家庭学習する。	次時までに予想を確定なものにするよう指示する。
5	予想の発表	本時目標を確認する。 予想を板書し発表する。	指名による発表 (発表状況を評定尺度法によりチェック)
10		発表された予想をノートにまとめる。	机間巡視 (ノート点検チェック)
5	課題の解決	西ドイツの工業の発達条件がわかる。	教師によるまとめ
5	次時へのつなげ	<ul style="list-style-type: none"> ・原料地に近い(ルール炭田) ・交通条件がよい(ライン川) ・安い労働力(外国人労働力) 	
		他の先進工業国にもこの条件はあてはまるか、自分の好きな国一つ選んで調べてみよう。	
5	課題をつかむ	他の先進工業国をしらべ	机間巡視による個別指導 前時のまとめに沿った課題解決が計られているか。 (チェックリスト法)
45	課題の解決	ノートに作業する。	
5	課題の把握	西ドイツの工業発達の条件と同じ点違点をまとめて発表する。	課題に沿った発表か。 (評定尺度法)
35	課題の発表	同じ国で付け加える事があれば発表する。	
10	課題の一般化	<ul style="list-style-type: none"> ・予想される発表国 アメリカ合衆国 イギリス フランス イタリア カナダ 日本等 	
		西ドイツと同じ点をまとめることで先進資本主義国の工業発達の一般的な条件とする。 西ドイツと違う点を確認する。	これを次の課題とする。

5分	課題の把握		すべての生徒に基本的なことを理解させる。 主に知識・理解に関する基本的な問題とする。
20	形成的テスト	形成的テストに取り組み交換して採点する。	
25	深化学習	形成的テスト結果による深化・補充指導 形成的テスト通過者に対して工業の発展的課題をプリントで与える。	課題プリントに取り組んでいるか。
	補充学習	形成的テスト未通過者に補説を与える。	個別に指導する。 終了後深化学習に移る。 未終了部分は家庭学習
5	課題の確認	学習課題をふりかえり先進資本主義国の工業の立地条件の共通点・相違点をまとめる。 課題プリントを発表する。	要点をとらえた発表か。 (評定尺度法)
15			
20	まとめ	教師によるまとめ	(評定尺度法・ノートによるチェック)
10		感想文による自己評価	フィードバック

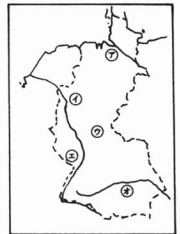
(7) 単位時間ごとの指導細案 (略)

(8) 形成的テスト問題

それぞれ適当なものを1つ選び、ア～オの記号を○で囲みなさい。

(1) (西ドイツ)

- ルール地方の位置は地図のどれか。
ア イ ウ エ オ
- ルール地方の工業都市はどれか。
ア ミュンヘン、イ エッセン、ウ フランクフルト、エ ハンブルク、エ ブレーメン
- ルール地方の主な工業の種類はどれか。
ア 石油化学、イ 繊維、ウ 食品、エ 鉄鋼、オ 製紙
- ルール地方で産出する地下資源はどれか。
ア 石炭、イ 石油、ウ スズ、エ アルミニウム、オ 銅
- ライン川を利用して鉄鉱石を輸入する主な相手国はどれか。
ア イタリア、イ スウェーデン、ウ イギリス、エ ツ連、オ 東ドイツ



(以下略)

(9) 発展的課題

次の項目を調べなさい。

- イギリスは、世界で最初に産業革命をなしたのに、現在勢力が低下しているのはなぜか。
- 西ドイツでは、工業の中心がルール地方から海岸近くのハンブルク付近に移動しているがなぜか。

(以下略)